

野川自然の里で生息域の限定される種の観察記録

2015年度植物調査補足

月	場所	科名	種名	
4月	越流堤調節池側の側溝との間	シソ	ミゾコウジュ	準絶滅危惧種
	上流湿地そば	キク	ニガナ	
	上流湿地	カヤツリグサ	アゼスゲ	
5月	同上	イグサ	コウガイゼキショウ	
	野川左岸ヤマベ橋下流	カヤツリグサ	ミコシガヤ	
	同上	イネ	スズメノテッポウ	
6月	同上	ゴマノハグサ	カワヂシャ	準絶滅危惧種
	同上	同上	オオカワヂシャ	特定外来生物
7月	湿地東側	イネ	ウシノシツペイ	
	野川左岸ヤマベ橋下流	ミクリ	ミクリ	
	野川右岸ヤマベ橋下流	ユリ	ヤブカンゾウ	
	第1調節池どじょう池からの水路沿い	同上	同上	
	越流堤調節池側の側溝との間	シソ	ミゾコウジュ	準絶滅危惧種
8月	第1調節池中央部	マメ	ヤブツルアズキ	
	東部北側法面傍	同上	同上	
	上流湿地	ミソハギ	キカシグサ	
	第1調節池東部	バラ	キンミズヒキ	
9月	同上	アゼナ	アゼナ	
	同上	同上	ハイヌメリ	
	同上	同上	コブナグサ	
	同上	アカバナ	チョウジタデ	
	上流湿地	タデ	ボントクタデ	
11月	第1調節池東部南側	ガガイモ	ガガイモ	
	上流湿地	カヤツリグサ	ヌマガヤツリ	
	野川左岸ヤマベ橋下流	同上	同上	
	野川左岸ヤマベ橋下流	カヤツリグサ	カンエンガヤツリ	絶滅危惧II類

2015年度は春からずっと雨が多くて、上流湿地（特に西）が冠水していることが多く、チガヤなどの湿性植物が元気だった。

（第一調節池西側）

・上流湿地（土取り場）西

春 コウガイゼキショウ、キカシグサ、アゼナルコ、ニガナ、ヤワラスゲ、アゼスゲなど

秋 ホウキギク（外来種）が増えた。タマガヤツリ、ヒデリコ、テンツキ類、ヒメグ、チョウジタデ

・上流湿地（土取り場）東

夏～秋 ヌマガヤツリ、ボントクタデ、ハイヌメリ、コブナグサ、ヒメグなど

ヌマガヤツリはため池造成時にその周りに発生していた。その後なくなったが、ため池のかいぼり発生土をこの位置に置いたため発生したと思われる。

・越流堤調節池側の側溝との間

ミゾコウジュは例年より比較的多かった。今まで通り、7月以降の草刈りが望ましい。

（第一調節池東側）

夏～秋 キンミズヒキ、ユウガギク、カントウヨメナ、ツルマメ、ヒメジソ、イヌゴマなど

河川部に見受けられるガガイモは草刈りのためなかなか花を見ることができなかったが、調節池東部南側側溝そばに昨年度から見られた株に今年度は花を確認できた。

クズがオギを覆ってオギを倒すほどになり、その下部は陽が入らず、夏は他の植物は見られない。（クズを部分的に駆除した）

（野川河川敷）

・やまべ橋～二枚橋

春 カワヂシャ、オオカワヂシャ、ミコシガヤ、やや乾いたところはオオクサキビ繁茂

夏 ミクリ、ケイヌビエ

秋 カンエンガヤツリ、ヌマガヤツリ

上流湿地東と同じ理由で粘性土張り工事の使用土から発生したものが多く見られる。ミクリの移植は確認できたが、マコモは未確認。オオカワヂシャは駆除した。